

かまぼこの健康機能性があきらかに

平成15年度 全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会 研究助成事業による研究成果の概要

No. 001

「かまぼこ」で糖尿病の改善が期待される

研究タイトル；実験動物に用いたかまぼこ製品／水産練り製品の生活習慣病に対する作用の研究

主任研究者；山口宏二・矢澤一良（東京海洋大学）

研究目的；現在も増加を続ける生活習慣病は食生活の改善で予防できると考えられています。かまぼこをはじめとする水産練り製品は保存性・嗜好性にも優れた魚肉製品であり、食生活の改善にも役立つと考えられます。しかし現在のところ水産練り製品を食べることによる生活習慣病予防効果を調べた研究はほとんどありません。今回は動物実験による研究を行いました。

研究結果；マウスを用い、糖類、コレステロール、中性脂肪の消化吸収に対するかまぼこの影響を調べました。また肥満モデル、糖尿病モデル、骨粗鬆症モデル等のマウスにタンパク質源としてかまぼこを摂取させ、その作用を調べました。その結果、かまぼこは砂糖、ブドウ糖などの小腸からの吸収を抑制し、血糖値の上昇を抑制することが明らかとなりました。この結果は、かまぼこを食事と一緒に食べることにより、食後の急激な血糖値の上昇を抑制できる可能性があることを示しています。血糖値が高めで、糖尿病予備軍といわれる人々にとって有用な食品となることが期待されます。また、高脂肪食摂取により引き起こされた肝重量の増加を抑制する作用が見られました。この結果はかまぼこが脂肪肝を抑制する可能性を示唆しています。過食、飲酒などによる肝臓障害を予防する食品として期待されます。これらの結果は、マウスでの効果をみたものであり、人で同様の効果が得られるか検証する必要があります。またどのような成分がどのように作用しているかを今後明らかにする必要があります。

